

会員各位

資産評価政策学会

会長 三橋 博巳

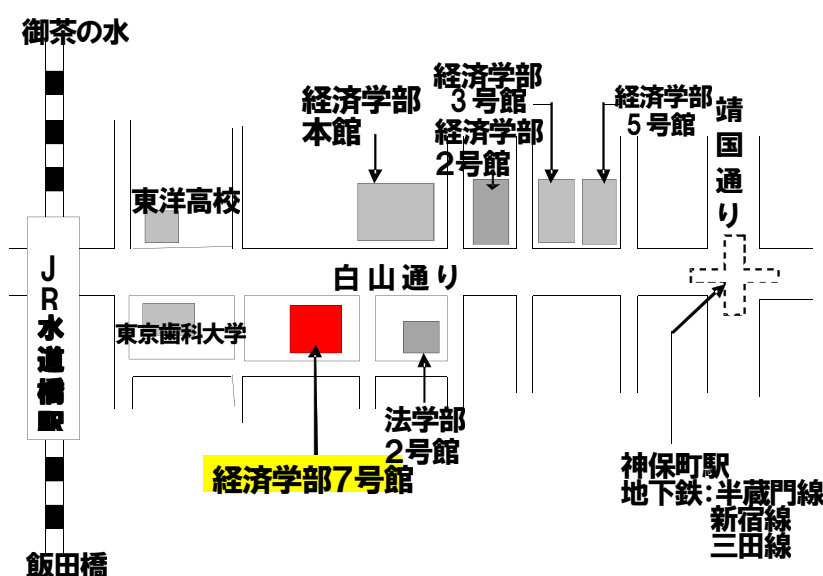
平成 27 年度 資産評価政策学会 総会・シンポジウムのお知らせ

拝啓 会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、平成 27 年度総会及びシンポジウムを下記のとおり開催することが決まりましたので、ご多用のところ恐縮ですが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようお願い申し上げます。出欠につきましては、メール・FAX・ハガキにてご連絡くださいますようお願いいたします。

敬 具

記

1. 日時 2015 年 7 月 25 日 (土) 13 : 00 ~
2. 会場 日本大学経済学部 7 号館 2 階大講堂 (東京都千代田区三崎町 2-8)



3. プログラム

総会	13 : 00 ~ 13 : 50
学会賞表彰式	14 : 00 ~ 14 : 20
シンポジウム	14 : 30 ~ 17 : 30
懇親会	18 : 00 ~ 19 : 30 (会場 : 日本大学経済学部 7 号館 14 階予定)

<総会>

(1) 審議事項

- 第 1 号議案 平成 26 年度事業報告及び収支決算 (案)
- 第 2 号議案 平成 27 年度事業計画及び収支予算 (案)
- 第 3 号議案 平成 27 年度役員改選 (案)

(2) 報告事項

- ・平成 27 年度資産評価政策学会賞
- ・その他

<学会賞表彰式>

平成 27 年度 シンポジウム

・日時

2015 年 7 月 25 日 (土) 14:30~

・テーマ

『建物評価と中古住宅流通市場』

・主旨

不動産鑑定評価基準の改正が平成 26 年 5 月に実施され、同年 11 月より施行されている。当該基準の改正では、ストック型社会の進展のもと、建物に係る価格形成要因の充実、原価法に係る規定の見直し等がなされている。具体的には、建物の増改築・修繕・模様替え等の実施が、耐用年数及び減価の要因に与える影響の程度、あるいは当該実施を再調達原価の査定において適切に反映させる旨が「不動産鑑定評価基準運用上の留意事項」に記されるようになった。このように、建物の増改築や修繕等の状況を適切に反映した評価が実施されるよう、新たに留意点が整理されている。

本シンポジウムでは、建物の評価に着目し、今後の中古住宅流通市場の活性化に欠かせない、建物評価手法の精緻化に向けて、不動産鑑定評価、ファイナンス、流通等、学術的に多方面からの検討を行う。

・基調講演

『日本の中古住宅流通市場の課題と展望 (仮称)』

米山 秀隆 ((株)富士通総研 経済研究所 上席主任研究員)

・パネルディスカッション

コーディネーター：中川 雅之 (日本大学経済学部教授)

パネリスト： 中城 康彦 (明海大学 不動産学部長)

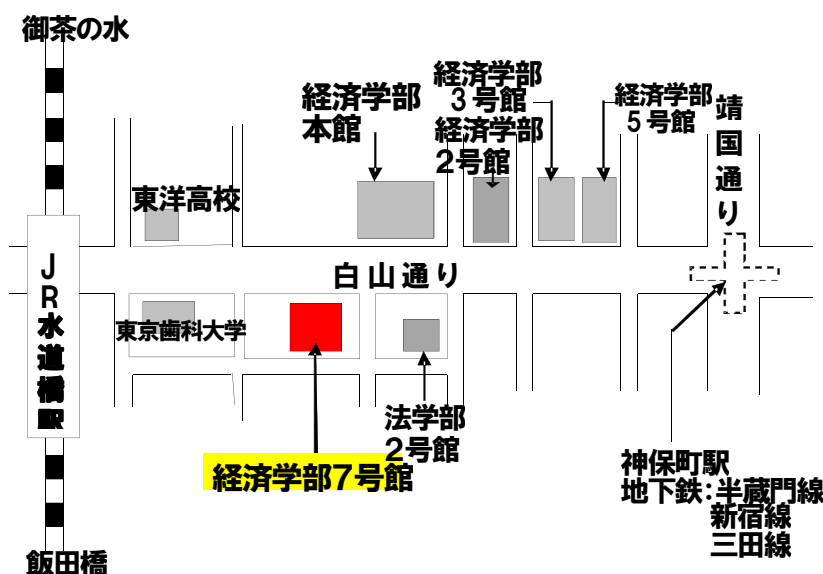
熊倉 隆治 ((公社)日本不動産鑑定士協会連合会 会長)

澁井 和夫 (世田谷信用金庫 常勤理事)

市川 宜克 (静岡不動産流通活性化協議会 会長)

・会場

日本大学経済学部 7 号館 2 階大講堂 (東京都千代田区三崎町 2-8)



(問い合わせ先)

学会事務局 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-2 千代田印刷会館 505 号室

Mail : japap00@gmail.com

FAX : 03-5355-7307